

◆一連の不祥事に対する区長の基本姿勢と今後の対応について

①不祥事の受け止めと、区長の責任は。②非常事態と言える状況にあつては、関係職員の見解も含めた人心一新の措置が必要だが考えを。③金銭管理の進め方と現場職員の具体的な対応は。

①着実に組織を立て直し、区民の期待と信頼に応えることが使命。②厳正に対処し、人事面での対応も検討。

◆会計管理 ③金銭管理対策委員会により内部統制を強化。

◆平成26年度予算編成に向けた基本方針と財政の見通しについて

◆基本方針と財調や特別区民税などの見直しを。

◆長期計画の達成を目指す。財調は今年度と同程度を期待。税収は、平成25年度

◆練馬が目指す将来像について

①区政を取り巻く状況変化の認識は。②少子高齢社会対策や都市基盤整備の対応を。

③新たな長期計画策定を。④財政運営は。⑤事業本部体制は。⑥資材の高騰や不足、人員の確保対応を。⑦区民が夢

◆社会保険と税制を一体化した消費税率引き上げ等が影響。②将来見据え積極的に推進。③現計画と並行し検討。④健全性、持続可能性を堅持。⑤効果的運営に努める。⑥的確に対応。⑦取り組む。

◆職員組織管理について

◆組織管理の規定と管理職が人材育成会社等で研修を。

◆管理責任と役割を規定。民間力を活用した研修を導入。

◆平成26年度の予算について

①基本的考えは。②消費税率の影響は。③新たな財源

◆当初予算をやや上回る見込み。◆地方法人課税の見直しによる区への影響について

①具体的な歳入減の見込みは。②区への対応策は。

①試算では約115億円の影響。②地方分権に反する。

◆区有財産の有効活用について

◆子どものために、幼稚園跡施設の検討と活用を考えを。

◆民設の認可保育所の誘致等の検討を進める。

◆区有施設を活用した財源確保について

◆広告事業の導入を。

◆拡充に向けて検討する。

◆子育て支援について

①待機児童ゼロの達成見込みと整備の完了時期は。②完了年度以降の委託化の考え

③在宅子育て家庭への支援を。④保育児童と非保育児童の不均衡是正の支援を。⑤児童クラブ入会需要の見込み

◆東京オリンピックピック等開催に向けた検討委員会を。

②区の魅力を掘り起こす仕組みを。③公共交通網の拡充と道路ネットワークの整備を。

①長期計画目標達成と事務事業の総点検。②歳出約20億、歳入約21億増。③有料資源発掘のため、体制強化を

◆特定財源確保等。④特定財源確保し目標達成に努める。⑤繰り入れ予定。⑥検討。⑦経常経費見直しと一般財源確保。

### 行政改革を見据えた 新年度の予算編成を！

練馬区議会自由民主党 関口和雄

◆消費税率の引き上げについて

◆財調協議の動向について

◆現在の動向と、協議に臨む所見を。

◆特別区の行政需要に見合った算定を、都に強く主張。

◆待機児童ゼロの達成見込みと整備の完了時期は。②完了年度以降の委託化の考え

③在宅子育て家庭への支援を。④保育児童と非保育児童の不均衡是正の支援を。⑤児童クラブ入会需要の見込み

⑥東京オリンピックピック等開催に向けた検討委員会を。

②区の魅力を掘り起こす仕組みを。③公共交通網の拡充と道路ネットワークの整備を。

①長期計画目標達成と事務事業の総点検。②歳出約20億、歳入約21億増。③有料資源発掘のため、体制強化を

◆特定財源確保等。④特定財源確保し目標達成に努める。⑤繰り入れ予定。⑥検討。⑦経常経費見直しと一般財源確保。

◆200床の新病院実現と医療、介護、在宅の連携を。

◆病床確保と医療介護の連携を図り在宅生活支援。◆練馬区の観光振興について

と、安全安心な放課後生活の実現を。

◆ニーズ調査で保育需要を精査し、示す。②成果や課題を検証し、検討する。

③受益と負担の観点も含め、施策の充実を検討。④26年4月に約200人増加と試算。通年型の居場所作りで実現を図る。

◆公共交通の充実について

①計画の見直しも含めた具体的な調査や検討を。②みどりバスの収益増のための利用促進に向けて広報活動を。

◆来年度に検証、評価したうえで、適切に対応。②広域的広報活動の展開を検討。

◆女性のキャリア支援と成長戦略について

①女性職員の職場環境の整備と区女性職員および区民のワーク・ライフ・バランス調査を。②女性による「女性応援課」や女性プロジェクトチームの設置を。③庁舎内保育園の開設を。④女性キャリア登録制度の設置を。

◆平成22年に行動計画を策定し、職場環境の整備に努めている。来年度、職員の調査と区民意識意向調査を実施。②積極的に検討する。③先進事例の把握等を進める。

④区内企業にとつて有

◆啓発強化に取り組む。

◆子ども・子育て支援制度

①基本的考えは。②保育園、児童クラブの待機児童対策の早期実施を。③二丁調査で区独自の子育て支援策を。

④第3子以降の保育料を無料化に。⑤認可保育所の利用条件の緩和は。⑥新制度の給付変更点と財源は。⑦保育所等の保育料保護者負担の均衡を。

①事業計画を定め、実施。②早期に推進する。③調査結果を反映。④検討。⑤定員拡大を図り対応。⑥地域型保育給付は区負担が軽減予

⑦公定価格を踏まえ検討。

◆公共交通空白地域改善計画について

①計画を総括し、見直しをすべき。②みどりバスの利用促進キャンペーンを。③バスの増便と運行時間帯の延長

④高齢化の視点でみどりバスの整備を。⑤乗り継ぎの利便性や、その料金制度を新たに検討すべき。

①来年度に検証・評価し、計画の見直しも視野に入れ、適切に対応。②広域的広報活動等の利用促進策を検討

③運行サービスの充実に取り組む。④検討を深める。

◆大江戸線の延伸について

◆延伸事業を平成27年までに着手すべき。②早期着手を都に強く要請すべき。③延伸の早期実現へ向け、大泉学園町のまちづくりの推進を。④大江戸線延伸の視点で大泉学園地域の乗り合いタクシー

益な人材の確保に努める。◆未来に向けての人材確保について

①弁護士(法曹有資格)職員の採用を。②魅力的な職員採用案内の作成を。③ねり丸を職員として未来戦略に。

◆昨年度は区道で約30件発生。原因は地下埋設物の破損等。②早急に下水道局と協議を進める。③テーマを持った公園をバランスよく組みの構築に取り組む。

◆ツリーハウスの設置が可能な「羽沢げき懸いの森」の土地の早期取得を。②こども森の運営は知名度のある子ども向けの施設の運営を行っている事業者へ委託を。

①引き続き、早期取得を目指し、協議を続ける。②最適な事業者の選定が必要。

◆入院中の子どもに訪問

①「ねり丸」絵本を作成し、出産記念品に。

①病院訪問で支援。

②実現に向け検討。

①障害者総合支援法の周知を。②次期計画に障害者基礎調査とサービス等利用計画を盛り込むべき。③サービスの多極化に対応した人材の育成を。④区内大学の学生ボランティアの育成を。

①努める。②計画に反映できるよう努める。③さらなる専門性の高い人材や、学生も含めたボランティア等の育成に努める。

◆内閣府の地域少子化危機突破支援プログラム推進事業に区が取り組むべき。②2度目の成人式の実施を。③民間の発想を活用した出会いの場の創出を。

①活用の可能性を検討。②区の様々な事業を通じて、若者の出会いの場を創出できるよう、婚活支援事業のあり方を研究する。

◆障害者計画・障害福祉計画について

◆延伸事業を平成27年までに着手すべき。②早期着手を都に強く要請すべき。③延伸の早期実現へ向け、大泉学園町のまちづくりの推進を。④大江戸線延伸の視点で大泉学園地域の乗り合いタクシー

①来年度に検証・評価し、計画の見直しも視野に入れ、適切に対応。②広域的広報活動等の利用促進策を検討

③運行サービスの充実に取り組む。④検討を深める。

◆延伸事業を平成27年までに着手すべき。②早期着手を都に強く要請すべき。③延伸の早期実現へ向け、大泉学園町のまちづくりの推進を。④大江戸線延伸の視点で大泉学園地域の乗り合いタクシー

①来年度に検証・評価し、計画の見直しも視野に入れ、適切に対応。②広域的広報活動等の利用促進策を検討

◆来年度予算について

①区の現在の財政状況と来年度予算編成の考えは。②全事務事業の見直しの進捗状況と内容は。③補助金事業の成果指標の設定状況は。④補助金見直しは例外なく検討対象に。

①財政の硬直化が進行。長期計画の目標達成を目指す。

②最終的な整理段階、来年度以降の予算に反映。③来年度に見直しが必要。④全事業について不断の見直しが必要。

◆オープンデータについて

①公的機関が保有するデータの二次利用が可能となるオープンデータの推進を。②推進のため専門チーム設置を。③オープンデータを活用した区民・団体・企業等の活動の可能性の考えは。

①一定の環境整備がされた段階で、練馬区情報化

◆区長の基本姿勢について

①消費税の消費生活への影響は。②情報公開の責務と特定秘密の取り扱い。③不祥事が続く組織的な緩みの原因は。

①区民生活に様々な影響。②条例等に基づき非公開。③管理者の意識低下。

◆区の強行開催について

練馬まつり雨天決行や出店料返金の判断基準は。

安全な運営等の要素を総合的に勘案し、判断。

◆消費者教育について

「消費者市民社会・消費者教育」の認識と取り組みは。重要と認識。協働して消費者講座等を展開。

①2014年に女性労働実態調査を。②条例に基づく男女共同参画苦情処理機関を。

①来年度予算なし。時

基本計画に位置付け、ICTの推進に取り組む。③区民参加・官民協働推進の新たな情報戦略の基盤となり得る。◆広聴制度について ①区民の声や要望に向け、区の広聴体制の充実。②第

身を切る覚悟で、来年度の予算編成を

練馬区議会民主党・無所属クラブ 倉田 れいか

三者機関を設置し、適正な対応が区民サービス向上と考える。◆区長室長 ①広聴専門員制度や苦情調整委員を設置し、対応している。②他自治体の先事例も研究し、検討する。◆児童相談所の移管について ①区内の子育て関連施設等の充実と連携は。②区への

期を検討。②男女共同参画推進懇談会等で意見をいただく。◆区民事務所・出張所について ①11郵便局同時の委託は無課。庁内体制と誤送信対策は。②窓口兼用、複数局員対応の個人情報保護対策は。

暴走独裁政権から 区民の人権や生活を守れ

生活者ネット・市民の声・ふくしフォーラム 菊地 靖枝

①税証明は税務課、他は戸籍住民課で一括受信。②専用回線使用や局員の研修等。◆障害者差別解消法について ①差別的取り扱い禁止・社会的障壁の除去が義務になる。合理的配慮の認識は。②障がい者政策の転換を踏まえ、次期計画をどう策定するか。

①適切に対応できる

①協力を重ねて、方向を示す。◆在宅医療と介護の充実について ①病床数、介護施設確保と併せ、在宅療養のさらなる普及啓発活動。②在宅医療・介護の担い手不足の課題と人材確保の考えは。③第5期高齢者保健福祉計画は将来像が見えづらい。将来的なケアシステムの具体像や目標時期の早期提示を。

①在宅療養推進協議会で、具体的な検討を進める。②看護師とヘルパー確保が困難。就職面接会等、事業の充実を検討。③次期計画の中で示す。

◆小中一貫教育について ①区が目指す小中一貫教育のあり方、理念、推進方法の教育長 小学校から中学校への環境変化による課題の解決策として実践。区にふさわしい小中一貫教育に取り組む、順次、全小中学校に拡大する。◆地域包括ケアの今後について ①充実した介護サービス実現に向け、国に対し財源保障を要求されたい。②制度改正を受け、民間事業者への支援・連携を図りたい。

①国等へ要望し財源確保に努める。健康福祉 ②多様な事業主体の経営の安定や

区政を問う

一般質問(要旨)

◆区長の基本姿勢について 国民の目・耳・口塞ぐ憲法違反の「秘密保護法案」に区は反対の声を上げよ。

特定秘密保護法案に 区として反対の声を

日本共産党練馬区議団 島田 拓

①国に財政基盤の強化等を引き続き要望。②特別区長会での案ができた次第示す。③区独自の拡充は考えてない。④適正に収納対策を実施する。

①客観的把握が難しい。②校務支援システムの平成26年本格運用が、負担軽減に役割を果たす。③各学校で、校長や副校長が状況を把握し、対応に努めるよう指導する。

①学校の図書選定については、議会や行政が介入すべきでない。教育長の認識は。

①区が実施した駅の実態調査を基に今後どのように取り組むか。②ルート目のエレベーターの設置を事業者に働きかけよ。

◆墓地・霊園の扱いについて 樹木葬等の自然葬が注目されている。区にて墓地・霊園の調査研究をされたい。健康福祉 需要を踏まえ研究。◆アニメを活用したまちづくり

①公式アニメキャラクターなり丸のキャラクター設定を強化されたい。②大泉学園駅北口再開発に合わせ、アニメ空間の演出等の工夫をされたい。③アニメ施策に力を入れて他自治体・事業者と連携して施策を進められたい。④練馬の街の風景・景色をアニメ・マンガの舞台に使用し

「政策力」で小中高齢社会の課題を解決!

練馬区議会自由民主党 高松 やとし

①積極的に取り組む。◆都市農地の防災機能について ①災害時における農地の協力協定の取り組み状況は。②提供協力農家の登録促進と協定の充実を図られたい。◆再生可能エネルギー普及促進

①本年度の調査を踏まえ推進。②J A東京あおばと協議連携し、充実を図る。◆再生可能エネルギー普及促進

①区民の安全安心確保に向け、防犯カメラの整備充実に取り組みされたい。②設置場所の告知、既設カメラの更新等にも助成を図られたい。◆防犯カメラの整備について

①地域団体の相談に丁寧に対応、増設に努める。②設置表示への助成等は検討。更新補助は今年度から実施。

①政治的中立性・継続・安定性の確保、地域住民の意向の反映という旨に則り、必要な協議・判断をする。◆駅のバリアフリー化について

①区が実施した駅の実態調査を基に今後どのように取り組むか。②ルート目のエレベーターの設置を事業者に働きかけよ。

再生可能エネルギーの普及促進、中でも小水力発電の調査・研究を進められたい。◆都市計画道路135号線 ①整備計画取りまとめへの決意は。②地域住民、大泉第二中学校関係者へ丁寧な説明と地域の声の反映を。◆区長 ①教育環境の保全と利便性確保に努める。②説明会やオープンハウス等様々な手法を活用し地域の意見を聞く。◆防犯カメラの整備について

※産後レスパイト型事業...: 産後の母親に対して、産後ケアセンター等において休養(日帰り、宿泊、乳房ケア等)を提供する事業。

◆ねりま未来プロジェクト推進構想について

①練馬区のシンボルとしての「としまえん」をにぎわいの拠点に。②石神井川に船を浮かべ、桜の鑑賞を。③「としまえん」を東京都と密に連携をとり、大規模防災拠点に。④練馬駅・練馬総合運動場・豊島園を総合的、一体的な整備の推進を。

◆区長「にぎわい」の拠点となるよう、地元の見解を踏まえた検討を都に要望する。

②将来的な課題と受け止める。③大規模避難場所機能を維持しながら、区の要望内容を検討する。④周辺地域を含めたまちづくりを検討する。

◆都市計画マスタープランの改定について

①様々な行政計画期間を持つ計画間の調整と、相互の整合性を図るべき。②東京都

◆区の内部統制について

関中学校で起きた通知表誤記載は大変遺憾。他の事務も含め多重チェック体制を。

総務 マニュアル・手引き等の策定・見直しの中で、多重のチェック体制を構築する。

◆将来の区立図書館のあり方について

国内外で図書館のデジタル化が急速に進展している。また、ツタヤを運営する企業に指定管理を委ねた佐賀県武雄市の公立図書館の取り組みは新たなにぎわいを創出している。これから更新を迎える図書館等本区施設は、前述のような環境変化など社会経済状況の進展を見極め、自由度と順応性の高い施設運営を目指す。そのために足枷となる交付金等に頼らず施設を更新する必要がある。考えを聞く。教育長 「情報拠点として、

との関係が深いマスタープランの改定は、都との連携を密にして改定されたい。③内容を精査して、優先順位をつけ作成すべき。④区内の東西格差の解消の内容を明記すべき。 産後ケアについて ①各計画相互に調整を。 色覚異常に十分な対応を。③区のお知らせの印刷物を、カラーユニバーサルデザインで。 教育長 ①医師会と協議し検討。②教育上の配慮に努める。 区長室長 ③全庁的に対応。

未来プロジェクト推進で、にぎわいの街を！

練馬区議会公明党 光永 勉

図る。②都の計画改定状況も踏まえ取り組む。③各地域の実情に応じ、優先課題等が明確になるよう努める。④区西部地域の都市計画道路の整備推進も改定内容に適切に対応。 色覚異常について ①色覚検査については、希望者を対象に個別で実施すべき。②教育現場において、

区民に役に立ち、頼りにされる愛される「図書館」を基本理念とする今年6月策定の練馬区立図書館ビジョンに基づき、図書館サービスの充実に努める。自由度を高くする運営方法等は、重要な視点と認識し

区民ニーズと時代の流れを的確に捉えよ！ さわむら信太郎 練馬区議会みんなの党

区民に役を、先行自治体等の事例を調査・研究する。 区教育長 ①区民の再生可能エネルギーへの意識を高まっている。区が行う太陽光発電設備の設置補助事業の拡大等について考えは。②太陽光発電設備の設置希望者の一助とするため、今までの区の補助事業の効果を検証し、公表すべき。考えは。③学校校舎・体育館の更新時に、避難拠点であること、

用した事業の可能性を検討。 ◆若者就労支援について ①若者就労支援窓口の本化を。②若者就労支援事業のさらなる周知を。③就職応援「練馬版ジョブクラブ」の実施を。④都関連事業等と連携を図り、コンセプトを持った職業体験の実施と、参加人数の増加への取り組みを。 教育長 ①来年度から、地域若者サポートステーションに統合する。②事業の周知とともに、産業団体等への協力と連携を要請。③先行事例を参考に導入を検討。④協力企業や業種拡大への支援策を検討。

◆区幹部怠慢・職員不正頻発 区長は組織的緩みを認め謝罪し内部職員の管理統制を強化徹底するとして、区政運営の怠慢、たるみの最も顕著な姿は区長ら上層部にある。区長は決算議会中連日熟睡し何の答弁も無く区民は驚きと怒りだ。体力的に区政運営困難なら体制一新が必要。職員不正事件は教育部署で多発だが原因は都任命の教員と区意識のギャップに問題ありか。 総務 区を挙げて内部統制の強化を図り信頼回復に努める。 教育長 都任命教員も区がサービスを監督。研修等の機会捉

区政を問う 一般質問(要旨)

特別委員会の行政視察

練馬区議会では、今後の行政施策の参考とするため、各都市への視察を行いました。

Table with 4 columns: 委員会名, 視察日, 視察先, 視察目的. Rows include 総合・災害対策等特別委員会, 医療・高齢者等特別委員会, 清掃リサイクル等特別委員会, 交通対策等特別委員会.

え、意識や資質向上に努める。 ◆区財政歳入大幅減収で危機 法人住民税の国税化で都財政調整金の予想減額規模は115億円と巨額。経常収支率が約90%の区財政は予算用途が固定化、弾力性無く増大する。 地域医療 介護施設との併設により、医療と介護の緊密な連携と柔軟な対応が図られ、 最重要審議で区長熟睡答弁なし、体制一新を オンブズマン練馬 土屋 としひろ 医療費や生活保護費の確保には徹底した歳出カットが必要。 区長 財政の健全化を改革の柱に、取り組みを強化。国の税制改正の動向を注視し、適切な財政運営に努める。 ◆西部の病院計画は不透明 200床回復期リハビリ病院計画は67床しか許可されず、経営計画は困難だが、老健100 生活保護・一人高齢者対策 無年金生活保護者と同居高齢者急増の実態と対策は。福祉 生活保護は必要な方に適切に支援が届くよう事務を執行。ひとりぐらし高齢者等実態調査を実施。高齢者相談センターを中核に、高齢者見守りネットワークを充実する。 ◆公益通報者と特定秘密保護法 行政不正究明に内部告発は不可欠だ。区情報公開との関連を調査し明確に説明せよ。 総務 特定秘密の対象は国の安全保障に関する情報、国の職員等に限定され、区施策や職員との関連は少ないと認識。 ◆高齢者センター建設は危険 大泉関越高架下は想定震度の巨大化とコンクリート劣化で危険だ。耐久年数が不明。危険暗い不安計画をなぜ強行。 企画 高速道路の安全管理は維持管理者等に十分確認し、安全快適な施設整備を進める。

平成25年第四回定例会の一般質問は、12月2日・3日・4日の3日間、11名の議員が行いました。ここでは質問と答弁の要旨を掲載しています。全文は1か月後に発行予定の会議録をご覧ください。会議録は、区立図書館、区民情報ひろば(区役所西庁舎1階)、区議会ホームページで閲覧できます。また、質問の様子は区議会ホームページでご覧になれます。ぜひご利用ください。